

機関リポジトリ・CiNii・ GakuNinRDM



～マッシュアップで描く近未来～

前田 隼
北海道大学附属図書館

図書館の研究支援 (例：北海道大学)

フローに入っているか？



Courtesy of ETHZ library

文献・情報収集

- 研究に利用できるコンテンツ・データベース
 - 電子ジャーナル
 - 電子ブック
 - データベース
 - リモートアクセスサービス

CiNii R

- 論文検索効率化ツール
- 北海道大学やそれ以外の資料を探す
- 学内外への文献複写、現物貸借申込
- 図書・雑誌の購入
- 文献管理ツール

論文投稿支援

- 投稿先としてのジャーナルの調べ方
- ジャーナル影響度指標（インパクトファクター）
 - Journal Citation Reports
- 注意が必要な「怪しいジャーナル」
- オープンアクセス論文投稿支援

学術成果刊行助成

- 北海道大学学術成果刊行助成制度

成果公開・業績分析

リポジトリ

- HUSCAPで著作を公開するには
- 博士論文のインターネット公表ホットライン
- 研究業績分析ツール InCites
 - InCites
- 研究業績分析ツール SciVal
 - SciVal
- 研究者IDサービス ORCIDとPublons

研究データ支援

GakuNinRDM

- 研究データの公開と管理
- 研究データ管理サービス「GakuNin RDM」

その他

- イベント・セミナー・講習会
- 図書館スタッフに相談しよう

関連リンク

- 研究・産学連携（北海道大学）
 - 研究活動に関するハンドブック
- 北海道大学URAステーション
 - 教員向けイベント情報
 - いくら掲示板（学内限定）

<https://www.lib.hokudai.ac.jp/support/>

ETH zürich の例

研究データ管理 (RDM)



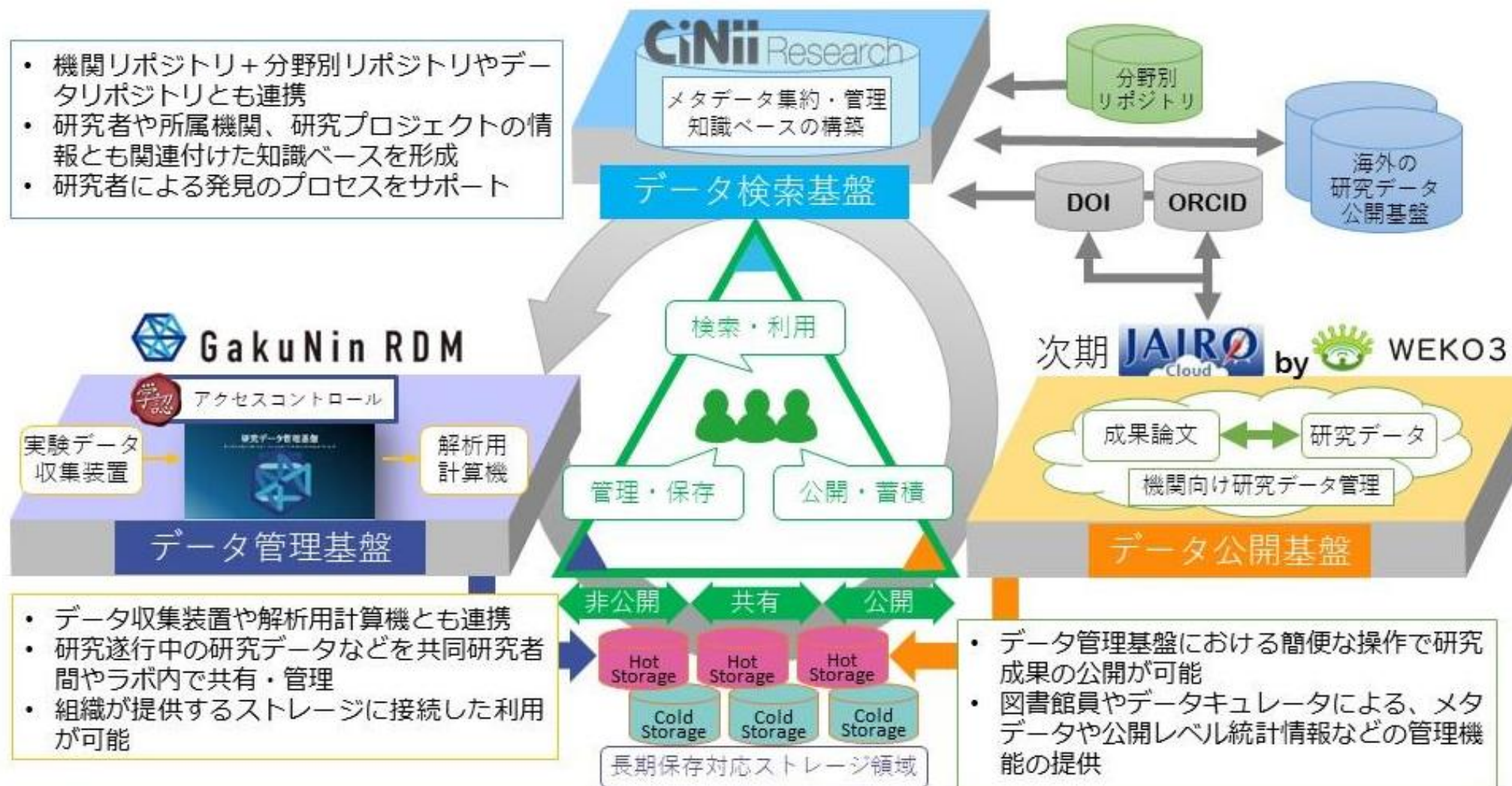
データ管理計画 (DMP)



“Librarians guide, researchers decide.”



NII の着想（想定する研究支援基盤）はとどのつまりこれだと思う。 では、このフローに入っているのは誰か？

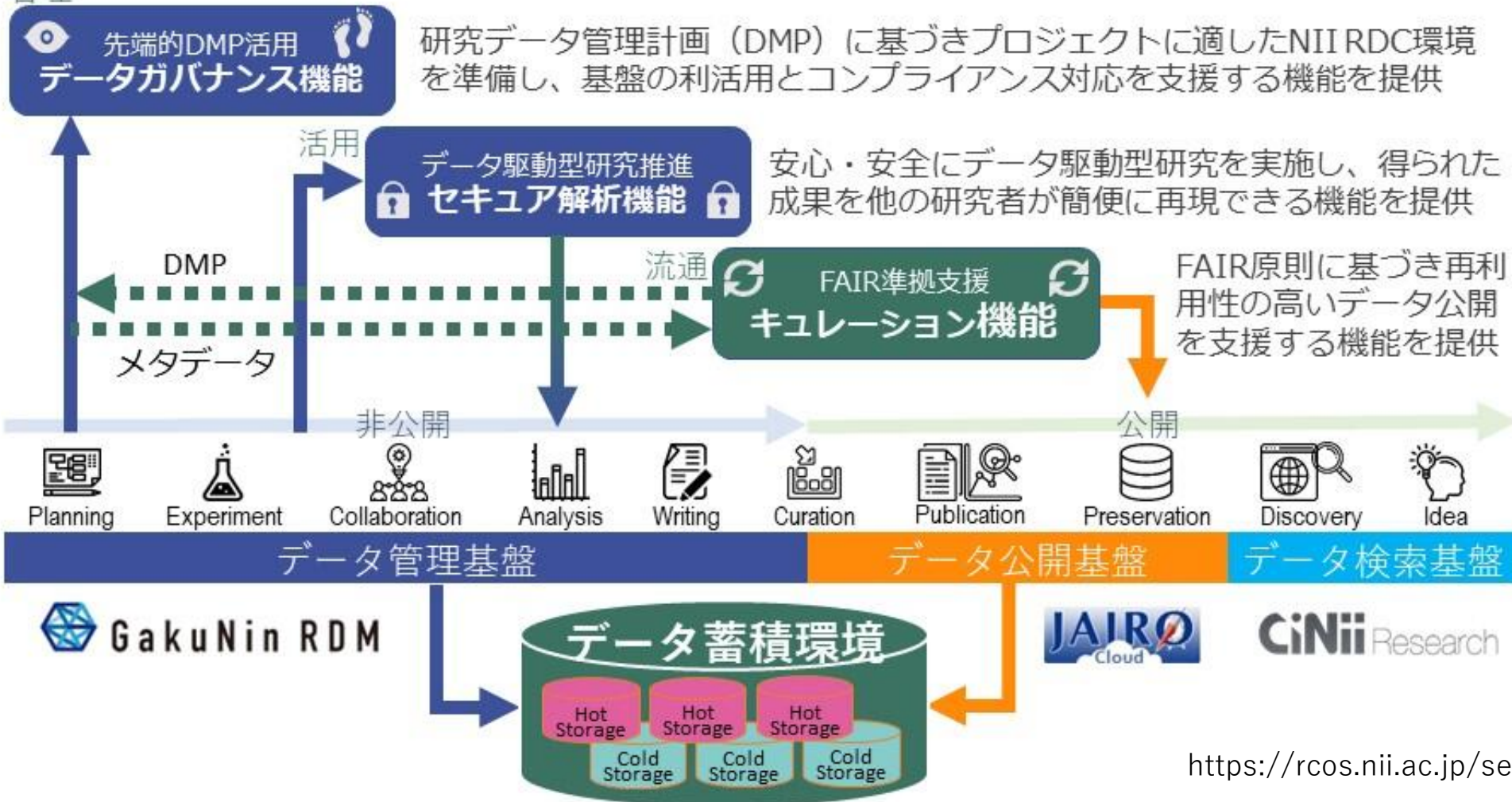


サービス対象の具体化とモデルフローの提示

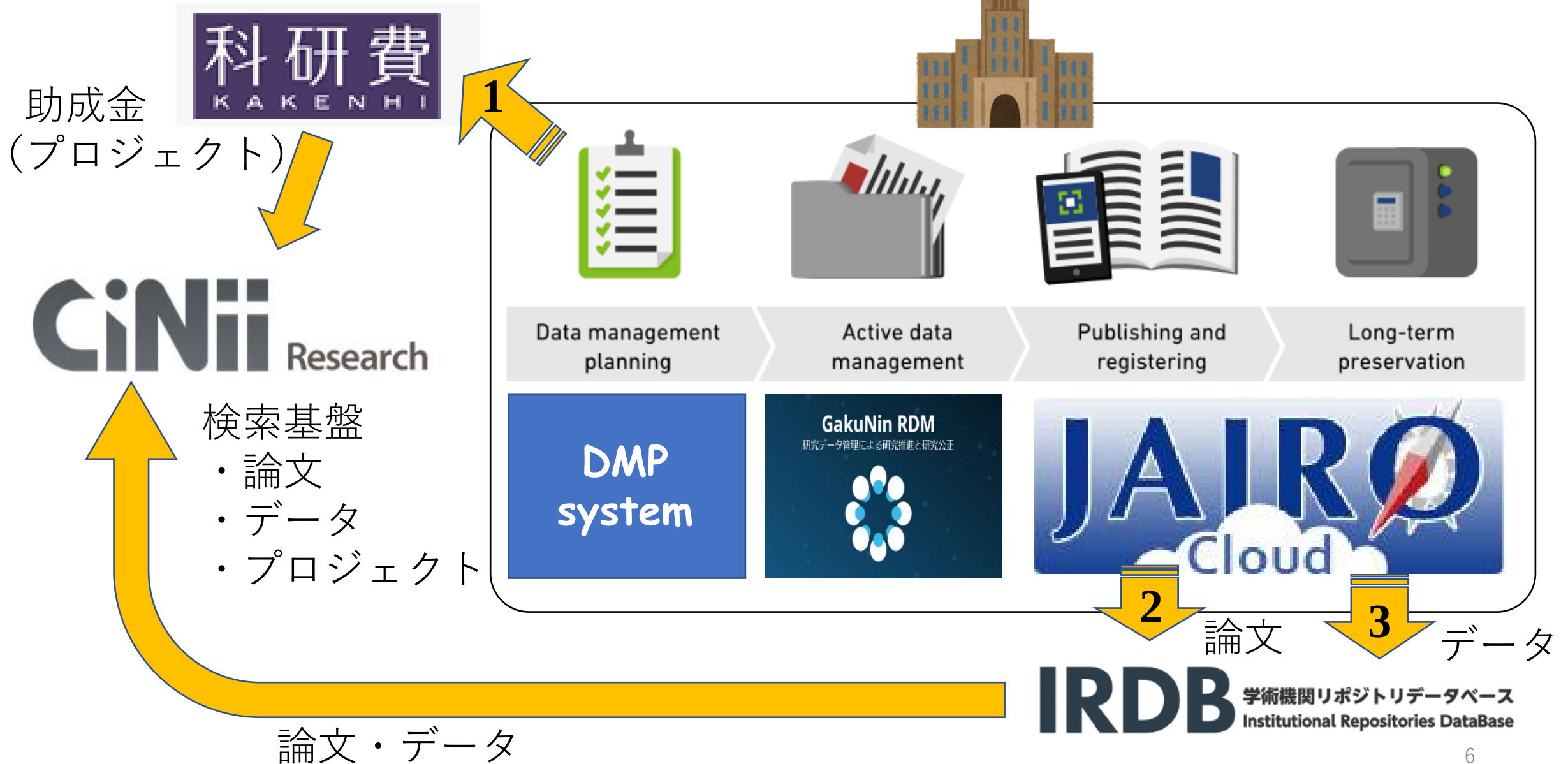
人文学・社会科学における具体的な活用事例の獲得

基盤を効果的に活用する人材育成のための教育基盤

NII RDCを使いこなし日本の研究者が世界最高水準の研究データ管理リテラシーを備えるための教育基盤
管理



人文社会学系はNII基盤と親和性が高い？



理工数物系はRDM単体では親和性が高い。。。が

- 出版を海外大手出版社に依存
- データリポジトリの乱立
- 検索・公開基盤としてのCiNii/JAIRO Cloudの存在感



Data management
planning

Active data
management

Publishing and
registering

Long-term
preservation

Standards and guidelines of the research funding agencies and the ETH Zurich

DMP
system

GakuNin RDM
研究データ管理による研究推進と研究公正



Missing
link?



CiNiiを検索基盤に据えると、STEM系が離れていく

CiNiiでデータを検索する人もいれば、論文からダイレクトにデータの所在を見ている人もいる。

→ だとすると、重要なのは関連論文を豊富に検索できる検索基盤（CiNii）の精度？

CiNiiが国内論文、とりわけ日本語論文に寄っているとRDMとの連携もその分野に限られる。

→ 結果として、STEM系からは機関リポジトリが見えない状況（データ格納先として



や



figshare

を利用する状況）が続く。

Geophys. Res. Lett., AGU/Wiley

Data Availability Statement

All image data and relevant parameters used within the publication are available from an online repository (<https://zenodo.org/>).

Sci. Rep., Nature

Data availability

The [redacted] data used in this paper can be obtained online (<https://doi.org/10.6084/m9.figshare.>). Fortran source codes used in the work are given in [http://www.\[redacted\].hokudai.ac.jp/](http://www.[redacted].hokudai.ac.jp/) [redacted]

GakuNinRDMに 期待される利便性

- ・機関リポジトリとの連携で
データにdoi付与が簡単

→ 論文投稿時に必要

- ・サジェスト機能により
ライセンス指定、
メタデータの入力が簡単

→ 手間を少なくしたい

gnss.txt 501.56 kB

Title
gnss.txt

Authors
Jun Maeda ×
Search co-authors by name, full email or ORCID

Categories
Geophysics

Item type
Dataset

Keyword(s)
Add keywords for easy discovery. Hit enter

Description
Describe your data as well as you can when pasting from other sources to avoid limits

Licence (what's this?)
CC BY 4.0

This item is a draft (metadata required for publication missing)

Apply embargo

Generate private link ×

<https://figshare.com/s/35efa884e911f95b16a8>

Note: Do **not** reference this link in papers. Use the public DOI.

DOI Digital Object Identifier

[10.6084/m9.figshare.16834783](https://doi.org/10.6084/m9.figshare.16834783)

The DOI becomes active when the item is published.

Cancel DOI ☐

オンデマンドなコンテンツ整備

利用者・図書館・研究者がお互いのツールで
ワンクリック・コミュニケーション



機関リポジトリ・CiNii・ GakuNinRDM ～マッシュアップで描く近未来～

大学図書館・NII ができること

- ・対象を明確にする
- ・サービスのスコープ（限界）を明確にする
- ・モデルフローを提示する
→ 近未来を案内する

Fin.